

会議録（要旨）

福祉部子育て支援室

会議の名称	第1回 さだ保育所民営化にかかる懇談会		
開催日時	平成19年2月8日（木） 18時30分～ 20時40分		
開催場所	枚方市役所 別館4階 特別会議室	公開の可否	可
担当	福祉部子育て支援室	傍聴者数	6人
出席者	委員	安藤委員（座長）流石委員、高畑委員、友田委員、貞利委員、亀井委員、藤本委員、嶋委員、稲岡委員、多田委員、並木委員（欠席：竹安委員）	
	市	森下理事、藤澤福祉部次長、橘子育て支援室室長、八尾子育て支援室課長、樋本子育て支援室課長、式田子育て支援室課長、重村福祉部スタッフマネージャー、金澤福祉部スタッフマネージャー、岡村子育て支援室グループリーダー、杉浦子育て支援室グループリーダー	
案件	蹠蹠保育所の移転及び民営化について		
資料	資料1 枚方市における保育の現状と民営化について 資料2 蹠蹠保育所の移転及び民営化について 資料3 蹠蹠保育所周辺地図 資料4 就学前児童対策検討委員協議会報告書（抜粋）		
<p>(1) 開 会</p> <p>(2) 理事挨拶</p> <p>(3) 委員紹介</p> <p>(4) 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">「蹠蹠保育所の移転及び民営化について」 市から資料1から資料4について説明</p> <p>《質疑等》</p> <p>委員 0歳の待機状況は。</p> <p>市 定員は496人、平成19年1月1日現在、616人が入所、待機児童は58人である。</p> <p>委員 保育所に入所している児童は、恒常的に定員を超えて入所している。定員の弾力化をいつまで続けるのか。</p> <p>市 弾力運用と並行して保育所の定員増も行いながら待機児解消に努めており、平成18年度には135人の定員増を行った。</p> <p>委員 少子化対策として、限られた財源をより有効に使い、待機児を無くす抜本的な対策を示していく必要があるのではないか。</p> <p>市 市では、「新子ども育成計画」で定員の設定をしながら待機児解消を図っている。保育所を増やすのが難しい中、幼稚園や認定こども園など総合的に考えていく必要がある。</p> <p>委員 19時以降の延長保育のニーズは、どのように把握しているのか。</p> <p>市 保育所は全ての園が7時から19時まで開所しており、大半の方はその時間帯で対応できている。19時以降どうしても保育が必要な方には、一部民間保育所や22時までの夜間保育所を紹介している。</p> <p>委員 公私間の格差は無いというが、市は私立保育園の定期的なチェックをしているのか。</p> <p>市 私立保育所に対しては、毎年補助金審査や毎月開催される園長会で民間園と情報交換等を行うなど連携をとっている。また、保護者からの苦情については、公私保育所とも子育て支援室が窓口となり対応している。保育内容は、全ての園が「保育所保育指針」に基づいて運営しており、公私の差は無いと考えている。</p>			

- 委員 公私間のコスト差の要因として、職員の年齢構成、勤続年数や職員配置基準などの違いとなっているが、この点については、
- 市 保育所の運営にかかる費用は、人件費が大半である。公立保育所は勤続年数が長く、人件費の差となっている。
- 委員 公私で配置基準は、どう違うのか。
- 市 保育士の配置基準は、0歳児は3:1で公私とも同じである。1歳児は公立が5:1、私立が6:1、3歳児は公立が15:1、私立が20:1、4・5歳児は公立が25:1、私立が30:1となっている。
- 委員 公立保育所の運営費が一般財源化され、お金が入ってこないという説明であったが、地方交付税という形でおりにてきているはずである。財源保障されていることを説明すべきだ。宇山保育所や民営化にかかる訴訟は、大阪府内で4市が裁判になっている。横浜市では保護者が全面的に勝訴し、「民営化は違法である」という判決が出された。大東市では、保護者に損害賠償が認められた。公立保育所を廃止するのではなくて、定員どおりの保育をすべきだ。
- 市 民間保育所の整備には、国のハード交付金が出されている。公立保育所にはハード交付金は交付されないが、起債で償還金等に関しては交付税で100%みるという形に変わった。「他の保育所への転所希望者が、民営化までに転所しやすい仕組みをつくる」とあるが、宇山の時は「公立保育所に転所させてほしい」との希望があったにも関わらず「転所を受け入れる枠がない」という説明だった。こういう書き方をして本当に実現性があるのか。転所については、宇山の時は6月発表、翌年4月の民営化のため、待機児童がいる中で、待っている人を飛び越えての転所ということは無理があると判断した。宇山の民営化で、保護者から公立へ転所させてほしいという話もあったので、今回、宇山の経験を踏まえ、保護者、子どもたちにとってより良い方法を考えている。できるだけ早く民営化を公表することにより、今回は21年4月民営化という話の中で、早い段階から転所の申込みが可能になる。
- 委員 募集要項に蹉跎保育所が民営化されると書いてあるそうだが。
- 市 それは誤りである。平成17年3月の市政運営方針で、楽寿荘に保育所整備を行うとしており、市として検討してきた経過がある。これまで、蹉跎の保護者には計画があるということとは話している。今後、市民の意見を聞きながら、最終的な方向を決めていく。
- 委員 今回、(懇談会は)急な話なので、保護者会として委員会や総会は開けなかった。それに代えて保護者にアンケートを取ったので、アンケートをまとめたものを読ませていただきたい。
- 座長 どうぞ。
- 委員 アンケートをそのまままとめた。内容は変えていない。そのまま読ませてもらう。「子どもたちの負担が少しでも減るよう願っているのが保護者の意見。」「保育所の場所を移動するのは絶対反対。」「市長が計画されている今後の具体的な日程、過程及び実施日を知りたい。」「楽寿荘に移転後の採算はどうなっているのか。採算が採れない場合、そもそも民営化する意味が無いことになる。」「楽寿荘の朝晩の送迎を安全に行けるよう対策を考えているのか。」「現地で建て替えをし、その間は別の場所を借りてでも建て替えをしてもらいたい。」「自転車での送迎が不可能にも関わらず、楽寿荘へ移転、民営化された場合、保育のニーズがあるのかどうか、しっかり調査し、検討してほしい。」「そんな送迎の困難なところに預けるより、近隣の他園に預けることを希望する保護者が多いのではないか。」「保護者の意見を無視した形でどんどん話が進められているようで、もっと周りの声に耳を傾けて安心して預けられる保育所を目指してください。」「どう考えても楽寿荘に移転を伴うことには反対です。周辺の安全を100%クリアできる方法があるとは思えないし、出口、北中振地区からの登所を考えると坂道の不便さだけではなく、京阪電車の踏切を渡るか改札口横の高架を使用しなければならず、自転車、車は使えません。河川側の住民のことを全く考えていない点には反対。」「今の立地はいいので、多機能を持つ、公立保育所としての蹉跎保育所の生まれ変わりを方向性の一つとして取り入れてもらいたい。」「蹉跎保育所の建て替え委員会では、現地での公設公営での建て替えを希望してい

る。それなのに、市の方針は保護者の要求とは全く逆ではありませんか。これまでの要求をどう捉えていたのか疑問です。」「1月26日の現況報告会の時に、子育て支援室の方は子どもたちにとって一番いい方法で考えていきたいと何度もおっしゃっていましたが、子どもたちにとって一番いいのは今のままの蹉跎保育所を残すことです。」「大人でも働く環境が変われば、かなりの時間を要する。環境が激変する子ども達の負担は計り知れないと思う。」「どうして財政難の負担を一番弱い子どもたちが背負わなければならないのでしょうか。」「私たちは公立蹉跎保育所を希望して入所してきました。それなのに途中で私立に変えてしまうのは、余りにも身勝手ではありませんか。」「民営化、必要なのでしょうか。市の財政は本当にそれで助かるのでしょうか。」「公立を選んで入所している人達に対し、納得のいく回答を出せるのでしょうか。」「なぜ、移転、民営化なのか。仮に、移転、民営化となったときに、魅力的な保育所サービスのビジョンを市はつくれるのでしょうか。」「市の姿勢から見える民営化の保育向上は、量的解決だけにしか思えず、質の維持は見えてこない。」「公立を減らし、市の負担が減るだけが民営化の意図なら今の策は理解する。少子化対策や待機児童解消の名の下に具体的なデータやビジョンを示さない民営化ならお断りです。まして、移転もお断りです。」「市は貧乏くじを引いたと思ってあきらめさせるつもりかもしれませんが、宇山の二の舞になりたいのですかね。」「枚方市は子育てしやすいまちづくりを掲げていたはずですが、なぜ民営化の必要があるのか。民営化のメリット、デメリットをきちんと示して話し合いをしてほしいと思う。」「他の自治体でも民営化でもめているところが多数ある。しかし、一方で比較的成功しているところも少しはあります。成功しているといえるところは、市、委託法人、在籍保護者との話し合いをととても大事にしていると聞きました。枚方市にもそういう姿勢が見られればと思う。保護者の今の私にはそうは思えません。市は、いろんな人を呼んで在籍保護者からは一人で周りがみんな民営、移転推進なら多数決的に民営化の流れがつけられてしまわないか心配です。」「蹉跎保育所の民営化に向けて、枚方市は保護者に対しての説明責任を今後どのように果たしていくのか具体的に教えてほしいです。」「保育所民営化による子どもたちの影響はないと考えているのか。」「宇山の場合と違い、移転、建て替え、民営化になると入所児全員が新しい園に転所するのと同じです。子供たちへの影響は大きいと思うがどう考えているのでしょうか。」「楽寿荘用地が保育所を建てる場所としてふさわしいと考える理由は何か。毎日送迎するのは困難であると当事者は訴えているのに、市はどのような解決策を考えているのか。」「市は民営化を前提にどうすれば子どもたちにいいかを模索していると思う。民営化すると起こりうる問題点を多く突き付け、どのような解決策を考えているのか知りたい。」「遊戯室2階の集会所利用者たちは保育所が無くなったらどこを利用するのか。保育所跡地の利用まですでに考えているのか。」「楽寿荘利用者たちは保育所が移転することに賛成なのか。」「土地の境界確定がまだということだが、どれくらいの土地を保育所として活用しようと考えているのか。」「保育所を選ぶときに公立だからという理由で蹉跎保育所を選択したのに、途中で私立になるのは納得できない。」「今年入園してくる人たちにはきちんと民営化対象園であるということ、少なくとも将来的には7園以外は民営化するという市の方針について伝えているのか。」「老朽化しているから建て替えしてほしいという要望を毎年市へ要望しているが、あくまでの現地での公設公営であって移転を望んではいない。」「現地での公設公営では予算が取れず、建て替えられないのであれば、建て替えず今のままで残す道はないのでしょうか。」以上、保護者からのアンケートをそのまま読ませてもらった。各委員にはもう一度これを読んでいただいて、保護者の訴えを心に留めて考えてほしい。

委員 北中振中央自治会では、蹉跎保育所の園児とは毎年交流をしている。自治会としては、駅前前は危険で災害等が起きたときどうにもならないと心配している。保育所があることにより、周辺の環境、駅前の開発の遅れとなっている。京阪線で光善寺駅周辺が一番遅れている。保育所に来ている人には駅に近いし、便利だということはわかるが、自治会としては、駅前周辺を開発して、安全を優先したいという考え方である。楽寿荘は環境が良い。コミュニティの役員はなんとか光善寺駅周辺をいい方向に、皆が喜んでもらえるような開発を望んでいる。できれば早い時期に移転して、整備をしてもらいたい。

- 委員 蹉跎保育所移転の要望が自治会全体の声として出されたというが、私も自治会員でずっと住んでいるが、そのような要望が出たことは見たことがない。そういうことを上の方だけで決められているということを市はわかって要望を受け入れているのか。要望が出ているから、移転ということが出ているからそれを鵜呑みにして取り入れているのではないか。
- 市 要望書を受ける際の市の考え方として、いろいろな立場の方、個人も含め市として全て等しく要望をお聞きする。保護者会からいただいている要望は保護者会として責任を持って出しておられる。また、地域は地域でそれぞれの立場で検討された結果を要望として出しておられる。それぞれの団体のそれぞれの総意として受け取らせていただいている。これが行政の基本的な姿勢である。
- 委員 移転に関する要望書は情報公開で知っている。平屋を2階建てにして、地下に駐輪場をつくるなどの方法で共存共栄できるのではないか。市の土地でもあるし、再開発で駐輪場が必要であれば地下につくるなど一緒に考えていけばいい。要望の中に民営化しろとは書かれていない。私は、民営化は反対である。次回、自治会の要望書を資料として要求する。
- 座長 次回に必要な資料は提出したい。
保護者会の資料については、配布してよろしいか。
- 委員 必要であれば次回に配布するという形で座長に預けるか、資料として出すか検討すればいいのではないか。
- 座長 回りの配布資料とさせてもらうことでよろしいか。
- 委員 公私間のコスト差の話で、職員の配置基準では公立の方が先生の数が多いので、サービスが変わっても当然と思う。保育内容に公私の差が無いというのはなぜか。公は公の良さがあるし、私立は私立の良さがあり、違いがあって当たり前。公私の差が無いというと、話し合いの余地が無いという気がする。問題は、待機児を減らすことなのか、お金がないことなのか、街の開発なのか。まず、何を考えたらいいのか。本当は、真中にくるべき子どもたちがどこかに行ってしまうのが心配である。
- 座長 いろんな立場の人がおられるので、見えている部分から意見を出していただき、統合化をしていくということになる。公私の保育内容に違いがないという話は、捉え方の問題である。学校、小学校でも公立と私立がある。しかし、小学校という枠からははずれてはいけないということはどこかにある。使われている用語自体そういう意味も含めて考えていただいたらどうか。
- 委員 公と私が全く同じなのか。それぞれ、良さがある。公も私もお互いに良いものを目指さなければならぬ。目指しているのが同じであれば、真中に子どもを据えた所で話が可能になる。私立の場合、各園で違いがあるが、最高のものを求めるよう園長会として努力している。公立と私達でどう違うのか、負けないようにがんばりたいと思っている。それをもって差がないといえば差が無い。公立から私立に変わっていくとして、保護者の不安は当然起こってくるであろうということは理解しておくべき問題と思っている。
- 座長 いろいろ見方によって、格差があるとかないとか、違いがあるとか個性があるとかいろんな言い方があると思うが、子どもを真中に据えて物事を考えていくという中で苦労だと思ふ。
- 委員 今日の議事の中では、蹉跎保育所の民営化と楽寿荘への移転の2つが含まれている。楽寿荘の資料が地図しかない中で、場所的な不安や老人施設に併設することなどが大きな不安材料になっている。楽寿荘の敷地の資料があればいいのだが。
- 座長 それについても、次回出していただく。
- 委員 移転の話は初めて聞いた。民営化という話でこちらに来たけれども、移転の問題も出てきている。資料は、事前にいただきたい。
- 委員 公立が良くて民間が悪いから民営化に反対しているのではない。枚方市は、30数年前に公立保育所でまず7時から19時までの保育をした。それに対して、民間の保育所でもできるよう補助金を出した。いわば公立と私立が共に水準、基準を上げていったという歴史があると聞いている。公立保育所は守るべきだ。民間も守るべきだ。公立の保育士の平均年齢は40数歳、私立は20数歳、この差がコスト差になっている。民間で働き続けられない環境を改善しなければならないという立場でものを言っている。公立がいいから公立にこ

だわっているわけではない。私立は社会福祉法人が経営しており、それぞれのやり方があるから公私が同じやり方のわけがない。公立でやったことは全市的に水準という形で広がる。民間保育園は、いい保育をしてもその地域でいい保育であって、他の地域まで広がっていかない。民間が 20 時まで保育をしているのであれば、公立もやるべき。公立がいいから、私立が悪いからということで民営化に反対しているわけではない。

委員 蹉跎の民営化は最近聞いた。これまで、公設公営で建て替えを要望してきた。市の民営化計画の中で、突然、民営化に関する懇談会が出てきた。懇談会までの過程が全然見えない。保護者も建て替え委員会も動揺している。不安が募っていく。順を追って、丁寧に説明してくれれば、不安も大きくならなかったと思う。保護者には、私が懇談会には出てほしくないという意見もあった。懇談会は夜で、市の都合に私たちが合わさせられている。保護者は誰も出れない。そういう中で進んでいく。保護者全体に説明が行き渡るような形で機会をとってもらいたい。もっと、保護者の働いている状況を考えて、説明会を開いてもらったり、皆の声を聞いてもらわないと前に進まないのではないかと。

委員 これから市の方でいろいろと話す機会を持つのか。

市 平成 17 年の市政運営方針で、初めて楽寿荘で民間による保育所整備という話が出た。その時は、役員には説明した。蹉跎保育所には、平成 4 年の移転建て替えの請願が採択されてから建て替え委員会ができ、年に 1 回現況報告会を開き、そちらで話をしているが、確定している話ではない。今回意見をいただき、最終、市としての方向性を出すために開催している。また、楽寿荘が大阪府の土地なので、17、18、19 の 3 年間で市の方向性を示していくということもあり、この間、課題整理に努めてきた中で今回、民営化という形で市としての方向性を示させていただいたが、詳しい説明ができていなかったということはある。2 月 14 日に保護者会との話をさせていいたこうと思っている。今後、日程等も調整させていただき、一番保護者の方が出やすい時間帯ということも考えている。

委員 子ども家庭サポーターという立場からだが、子どもの安全という点、今の保育所の立地は、非常に危ないと感じた。この立地は、子どもにとって危険度が高いという印象を受けた。サポーターで、くずはでリズム遊びを月 4 回やっているが、枚方公園、光善寺から父親がバギーで 0 歳の子どもを電車に乗って連れてくる。ずいぶん遠いところから来られるねと聞いたら、近辺に安心して遊ぶ場がないといわれる。子どもにとっては安全なところが必要。気持ちを切り替えて、違うところで緑や桜もあって、老人と一緒にというのもこれからのスタイルではないかと。十分な話し合いは必要で、市は保護者の気持ちを十分汲んで、いい方向にいけばと思う。

市 市として課題整理に努めてきて、市政運営方針などいろいろな場でお知らせしてきたが、今回初めて具体的な考え方をお示した。今日が出発点と思っている。議論の中心は子どもたち。そのために、市として何が一番いいのかという視点で物事を考えてきた。年々市民ニーズは多様化している。時代に合った施策を推進しなければいけない。そういう中で財源確保に努め、将来の子どもたちも含め、皆さんに満足していただけるまちづくりを皆さんとともに進めていきたいという考え方をベースにしてまとめさせてもらいたい。次回は必要な資料をできるだけ早期にお配りする。保護者会からもあったが、今後このような話を進めさせていただくについても、より親切に、より丁寧に対応していきたいと思っている。

委員 説明会は、保護者の都合に合わせてもらいたい。市は、16 日が生活発表会など行事を把握しているはずであるから、保護者の都合を考えて日程調整すべきである。宇山の民営化の時も何度も話し合いを持ったと思うが、話し合いの中で宇山の総括を出しているといっていたが、運動体として何も聞いていない。民営化後のアンケートを市はとっていない。3 年経ったので、宇山光の子保育園の保育しか知らない人が増えている。宇山保育所を民営化したときの総括を是非出していただきたい。

座長 ボタンの掛け違いを起こさないように、それぞれの意を汲みながら検討していただきたいと思う。